

エグゼクティブサマリー要旨

イヴァ・ロイド ND

エイミー・スチール ND PhD

ジョン・ウォードル ND PhD

医療技術評価（Health Technology Assessment） - 自然療法

このエグゼクティブサマリーは、自然療法に関する医療技術評価（HTA）の結果を提示する。世界自然療法連盟（WNF）は、世界の自然療法士を代表する非営利団体です。各国の自然療法団体、自然療法教育機関、その他の自然療法士で構成されています。世界保健機関（WHO）の全地域にまたがる組織。HTAのプロトコルと方法は、以下の通りです。世界保健機関（WHO）のHTAガイドラインに沿って起草され、特定の要件とそれに適合するように修正されました。自然療法士という職業柄。HTA報告書は、自然療法の実践と自然療法の成果に関するエビデンスに基づく要約を提供するために作成された。HTAの範囲は、国際的な自然療法学会以下の研究によって得られたものである。

自然療法専門職の基礎知識

本 HTA の第 1 章では、自然療法は伝統的かつ補完的な医療システムであると説明されている。ヨーロッパに歴史的・文化的な強いルーツを持つ世界的な企業です。自然療法は、独自のシステムとして正式化された。19世紀末にドイツで、20世紀初頭に北米で誕生した医学である。その後、自然療法は西太平洋、アジア、中南米、カリブ海地域、アフリカ、そして世界各地に広がりました。欧州の他の地域 自然療法士は、自然療法と自然療法医学の両方を含む職業です。自然療法士と自然療法医(ND)は、教育上の相違はあるものの、自然療法診療の基礎として、共通の哲学的枠組みと一連の中核的治療様式および実践を共有しており、また、自然療法医(ND)の教育上の相違は、以下の通りです。管轄地域ごとの規制や制約があります。

主な内容

- 自然療法は、ヨーロッパで生まれた伝統的な医学体系であり世界の伝統医学・補完医学（T&CM）の一翼を担っています。
- 自然療法士/ナチュロパシクドクターは、患者のライフスパンを通して治療を行います。自然療法は、予防や慢性疾患に重点を置くだけでなく、急性疾患の患者や緩和ケアの患者への治療も行います。
- 自然療法の診断では、伝統的な自然療法の診断概念に加え、生物医学の用語や診断基準を用いて、症状、状態、病態を分類しています。
- 自然療法は、2つの中核となる哲学と7つの原則によって定義され、自然療法理論の実践は、次のようなものによって導かれています。
- 自然療法の実践は複雑で多様であり、自然療法の中核となる治療法、様式、そして 応用栄養学、臨床栄養学、漢方薬、生活習慣の改善、心身医学を含む実践。カウンセリング、自然療法的身体医学、水治療法、その他、管轄地域の規制に基づく治療法。及び自然療法教育。

自然療法の実践

第1章では、自然療法診療が、特定の評価、診断、治療によってどのように特徴付けられるかを説明する。自然療法士/自然療法医が使用するアプローチ。ヨーロッパの伝統的な医療システムとして 西洋医学といくつかの歴史的なつながりがあります。自然療法は、伝統的な診療の橋渡しをうまく行うことができます。と生物医学的なアプローチで実践しています。自然療法 アセスメントは個人中心で行われ、その目的は以下の通りです。患者さんの健康状態やその要因についてその症状や状態を 生活習慣、社会的、環境的、外的、そして、症状や状態を調査します。遺伝的要因、医療介入の影響など。自然療法士/ナチュロパシクドクターは、様々な方法を用います。徹底的な病歴聴取、従来の標準的な身体検査、臨床検査など、評価ツールは多岐にわたります。検査、そして伝統的な自然療法による評価です。舌診や脈診などの手技があります。3つの自然療法アセスメントの主な目的は以下の通りです。:

1. 患者の要因を特定する。健康状態、症状および/または疾病を把握する。
2. 自然療法診断に必要な情報を収集する。
3. 患者の活力と健康状態を評価する。

自然療法の診断には、相互に関連する3つの主要な目的があります。:

1. 伝統的な自然療法の診断概念に加え、生物医学の専門用語や診断基準を用いて、症状、状態、または病状を正確に分類する。
2. 患者の症状、状態、または病状の根本的な原因を特定する。
3. 患者さんの治癒能力を判断する。

自然療法の実践は、常に治療的な多様性を持っており、自然療法の哲学と伝統的な枠組みに基づいて適用される様々な治療様式と実践を組み込んでいます。自然療法の中核となる治療法と実践は、臨床栄養学と応用栄養学、ハーブ療法、ライフスタイル・カウンセリング、水治療法、ホメオパシーであり、自然療法教育プログラムの80%以上に含まれています。管轄の規制と自然療法士/自然療法士のトレーニングに基づく 国によっては、ヨガ、自然療法による操体法、鍼灸、静脈注射、鍼灸師による治療など、他の様式もあります。点滴療法、再生注射療法、そして 規制対象製品（生物学的同一性ホルモン、高用量ビタミンD、点滴療法用化合物など）の処方については、自然療法士の活動範囲の重要な部分を占めていて実践しています。

自然療法の理念と技術 原理・原則

第2章では、自然療法のあらゆる側面を包含し、自然療法の実践の指針となる7つの自然療法の原則に支えられているバイタリズム（生体に備わった知性）とホリズム（身体は複雑な適応システムであり、全体として存在する）の自然療法哲学の概要を説明します。:

- I. 第一に、害を及ぼさないこと (*primum non nocere*)
- II. 自然の治癒力(*vis medicatrix naturae*)
- III. 原因を治療する (*tolle causam*)
- IV. 全人格を治療する(*tolle totum*)
- V. 教師としての自然療法医 (*docere*)
- VI. 健康増進と疾病予防
- VII. ウエルネスとウェルビーイング

自然療法の理論

第3章では、核となる理論や概念について説明します。自然療法士/自然療法医の臨床推論と意思決定に役立つフレームワーク。主な 含まれる理論は以下の通りです。:

- 自然療法的治療順序とは 治療への体系的アプローチ 低侵襲な治療から、必要に応じてより強力な治療へ。
- その有害物質が環境から吸収されたり、代謝の異常によるもので、健康のためには効果的に除去する必要があります。
- 複雑系理論 (Theory of Complex Systems) とは、以下のようなものです。身体は複雑で、自立したダイナミックなものである。環境の中で機能する進化するシステム 自然療法の実践は複雑であるがこのことを反映したものでなければなりません。

WHO地域別自然療法専門職養成講座

本 HTA の第 2 章では、教育基準や規制には多様性があるものの、以下のように説明されています。自然療法士という職業は、世界中に存在しますが、その職業を定義する哲学と原則において、強く結束しています。自然療法の実践、および専門職が使用する中核的な治療様式と実践において

主な内容

- 自然療法の専門家には、11万人以上の自然療法士/自然療法医（ND）が含まれ、以下のように活動しています。WHOの全地域にまたがる108カ国。
- 34カ国が、自然療法専門職に特化した規制を含む何らかの法的規制を設けています（例：Naturopathic.com）。34カ国が、自然療法専門職に特化した規制（例：Naturopathy Act）、および/またはAllied HealthやT&CMの下での包括的な規制を含む、何らかの法的規制を有しています。
- 自然療法/ナチュロパシー医学が実践されている国の75%は自然療法士という用語を使用し、41%は自然療法士 ドクターまたは自然療法医。Heilpraktiker、naturista、naturólogo、naturópata などの地域的なバリエーションは、その地域性を反映したものです。その国で話されている言語
- 世界中に130以上の自然療法教育プログラムがあり、大きく分けて2つのタイプがあります。4,000時間以上の博士号レベルの教育プログラム（現在、全体の52%を占める）。プラクティショナーレベルのトレーニングプログラムは2,500時間です。

自然療法を取り巻く状況

WHO地域

第4章では、WHOの地域別の概要を説明する。伝統的な医学の独立したシステムとして、自然療法があります。1800年代半ばにドイツで誕生した。その後 アメリカ大陸、西太平洋の国々に広がりました。インド、その他のヨーロッパ諸国 1900年代初頭までに 現在では、自然療法/ナチュロパシー 医学は、WHOの全地域にまたがる108カ国で実施されています。地域、11万人以上と推定されます。自然療法士および/または自然療法医師は、全世界に存在します。自然療法は現在、WHOの全地域で実施されています。

- **ヨーロッパ・ロシア**は伝統的な自然療法の故郷であり、次のような特徴があります。同地域には30カ国以上があり、自然療法士がいる。約6万人の自然療法士が働いています。
- 自然療法は、以下の地域に導入されました。1800年代後半に **アメリカ大陸（北米・中南米）** に上陸。自然療法士がいる地域は30カ国以上。25,000人以上の自然療法士が働いています。自然療法医 **北米**（カナダ と米国が本場とされています。）近代的な自然療法は、この地で体系化されました。教育が最も進んでいる。北米では自然療法士はプライマリーヘルスケアとして認められています。州または地域のケアプラクティショナーの規制があります。北米のNDは、以下のような役割を担ってきました。自然療法研究をリードし、重要な役割を担っています。自然療法の情報を体系化したものです。
- **西太平洋地域**には1900年代初頭から自然療法の労働力があり、現在その地域には10,000人以上の自然療法/NDの労働力で自然療法を実践して

いる14か国があります。西太平洋地域、特にオーストラリアの自然療法医/NDは、この職業の自然療法研究を促進するのに役立ちました。日本の自然療法士/NDは西太平洋地域です。

- **東南アジア**に自然療法が導入されたのは、1960年代のことです。1920年代にはインドを経由し、現在では少なくとも1,000社以上が存在します。自然療法士がいる5カ国は、以下の通りです。1万人のナチュロパス/NDがいる。インドでは、自然療法はインドの伝統的なシステムである「Traditional System of Indian 医学（AYUSH：アーユルヴェーダ、ヨガと呼ばれる）と自然療法、ユナニ、シッダ、ソーワ・リグパ、そしてホメオパシー）、ナチュロパシーとヨガを自然療法学に融合させた。
- 自然療法が **アフリカ**に導入されたのは、1960年代半ばのことです。1900年代、現在では少なくとも13カ国で実施されています。は、約5,000人のナチュロパス/NDの労働力があります。
- 自然療法は **中東アジア**に導入されています。地中海地域は1990年代後半から始まり、現在に至っていません。現在、少なくとも8カ国で実施地域です。

自然療法士の規制について 労働力

第5章では、自然療法士の労働力が存在することを概説した。は108カ国である。35カ国が法律で定めているのに対しては、自然療法士という職業を規制して、正式な任意認証のプロセスを有しています。その他 規制モデルには、共同規制や消極的規制が含まれます。ライセンシング。法定規制は、いくつかの法律に従って行われます。

自然療法専門職に特化した規制（すなわち、自然療法法）、および/または、自然療法専門職に特化した規制を含む枠組み

があります。アライド・ヘルスまたはT&CMの下で包括的な規制を行う。

教育基準 自然療法士の人材

第6章では、131の自然療法教育機関が存在することを概説しています。世界の教育機関のうち38%は 東南アジア地域、ヨーロッパ地域が27%。アメリカ大陸の22%、西日本の9%。太平洋地域、アフリカ地域が4%となっている。また 自然療法士の教育プログラムは主に2つあります。レベル研修（4,000時間以上）および プラクティシヨナーレベルのトレーニングプログラムは2,500時間です。現在の自然療法医教育プログラムの52%以上が、このプログラムです。4,000時間以上のプログラムがあり、

4,000時間未満のプログラムがあります。9%は2,000時間未満です。トレーニングのベンチマーク（Benchmarks for Training in WHO が 2010 年に発表した「ナチュロパシー（Naturopathy）」）。自然療法教育には、全範囲が含まれません。:

- 自然療法の歴史、哲学、原理原則、そして理論です。
- 自然療法医学の知識には、基礎的なものと臨床科学、実験室および診断テスト、自然療法的な評価と診断
- 自然療法的治療法、実践、および治療法を紹介します。
- 監督下での臨床実習
- 倫理とビジネスプラクティス。
- 研究を行っています。

HTAのために実施された調査

WNFは、5年間にわたり、このHTAに必要な基礎的な作業を行いました。実施した調査の概要は以下の通りです。

2015: 2015年：世界の自然療法専門職を対象とした初の国際調査を実施し、自然療法専門職の特徴を概説した。各国における自然療法診療の22の国の自然療法団体から回答があった。WHOの全地域にまたがっています。

2016: 自然療法教育、規制、規制の特徴を調査する詳細な国際調査。実践の枠組みを開始しました。この調査には、65の自然療法団体（教育機関 29カ国の教育機関、専門家団体、規制機関）が参加しています。本調査のデータ収集は2020年に終了しました。

2016: 国際的な自然療法教育機関を対象に調査を実施。30の回答があり、その範囲は WHOの5地域17カ国が、自然療法教育プログラムで何を教えているのかを概説しています。[4].

2016: 自然療法専門職が行った研究の書誌学的分析を、2016年から 2018. この国際自然療法研究連合プロジェクトの結果、2200を超える自然療法 このHTAのかかなりの部分の根拠となる研究論文。

2019年: 国際的な診療調査を実施し、診療行為、健康状態、治療法について確認した。自然療法士/自然療法医が使用するモダリティ。このアンケートは、14のフルWNFから会員に送られました。自然療法診療の歴史が確立されている会員（全国自然療法団体）には、以下のものが含まれています。

自然療法患者859名からのフィードバック。

2019年: 自然療法教育機関が提供する程度を明らかにするために、国際的な調査を実施した。自然療法を通じて、恵まれない人々や低所得者、専門的なグループに対して、無料または低料金の自然療法を提供する。コミュニティクリニック

2019年: 世界中の自然療法教育機関が提供するプログラム内容を詳細に分析した結果 が開始され、2021年に完了しました。この分析により、131の自然療法教育プログラムが特定されました。WHOの5つの地域

2020: 自然療法士/自然療法医を対象とした国際調査を実施し、自然療法士/自然療法医がどの程度 自然療法の臨床家は、様々な地域教育や健康増進を通じて、一般市民と関わり、教育しています。活動をしています。この調査は5ヶ国語に翻訳され、800人以上の自然療法士、自然科学者から回答を得ました。

WHOの全地域にまたがる自然療法医。

2020: 詳細な知識動員調査を5ヶ国語に翻訳し、国際的に共有した。その結果、世界中の自然療法士/自然療法医から500以上の回答がありました。この調査では 自然療法の臨床家は、自然療法に関する知識や情報を共有し、利用するために、どのようなアプローチをとっていて、実践しています。

ナチュロパシーのヘルスケアシステム実践と実践の場

本 HTA の第 3 章では、自然療法に関連する臨床成果を説明する広範なエビデンスが存在することを概説している。自然療法の治療様式と実践、および自然療法実践の他の多くの側面を検討する広範なエビデンスベース。世界の医療制度にどのように適合させることができるかの指針を提供するものです。政策立案者やその他の関係者が医療従事者を最適化し、自然療法士/自然療法医を統合する最良の方法を理解すること。

地域社会のためになる政策、プログラム、サービスを提供するためには、このエビデンスを現代の文脈の中で自然療法の実践を考慮する必要があります。

主な内容

- 自然療法は、特に長期的な慢性疾患や高病歴者にとっては費用対効果が高い。を、その疾病の負担を軽減する。
- 自然療法に関連する直接的なリスクは、多くの医療専門職と比較してまれであり、通常、軽微なものである。は、プライマリーケアに類似した役割を持つ他の職業と変わらない性質を持っています。
- 世界中に100以上ある自然療法コミュニティクリニックは、自然療法ケアを提供する上で不可欠な役割を担っています。恵まれない人々、疎外された人々、低所得者、十分なサービスを受けていない人々に対して
- 自然療法士・NDは、様々な形で地域社会の教育や健康増進活動に積極的に取り組んでおり は、健康リテラシーを高めることを目的とした公衆衛生の取り組みにおいて、より正式な役割を果たすのに適しています。
- 自然療法士/NDは知識の動員を実践し、複数の形式と知識源を用い、知識を動員する。の知識を、他者からだけでなく、他者へも提供します。

安全性とリスク 自然療法の 実践

第7章では、主なリスクの種類を概説しています。自然療法の実践は、他のどのようなものとも類似しています。広い範囲を扱う他の医療専門職

を使用し、その結果、主に 自然療法士/NDが使用するプライマリーケアの状況、および、自然療法士/NDが使用するプライマリーケア というのも、このような場合 自然療法に関連するリスクはありますが

比較的まれなケースですが、潜在的には を目的とした規制の取り組みが重要である。それを最小化することが奨励されるべきです。低リスク自然療法の実践は、以下の点に大きく依存します。適切な教育水準と安全な基準を確保するための仕組みが必要である。これらの基準は満たされている。自然療法に関連するほとんどのリスクは 診療は自然療法に特有なものではないのような治療器具による有害事象)。植物療法や点滴療法など)、あるいはを代表するものではなく、不正な施術者と自然療法診療(例：詐欺的行為)。このような 自然療法診療のリスクの類型は、以下のようなものです。実質的な医療専門職であれば、どのような職種でも期待されることです。プライマリーヘルスケアの役割を担っており、実質的には同様の役割を果たす他の開業医グループ。

自然療法士ケアの経済性

第8章では、世界的に見ても自然療法は、以下のように概説しています。は、主に第三者保険会社または自己負担で賄われています。消費者が負担するポケットコストではなく 政府出資のプログラムであるため、その分、負担が増える可能性があります。自然療法ケアの利用しやすさ。

- 国によっては、政府が資金を提供する 自然療法は、特定の集団のためのものです。(退役軍人のケアなど)、または状況(労働者のケアなど)
- 自然療法による介入の経済評価を実施したところ、自然療法は確実にその効果を発揮しました。は、特に費用対効果に優れています。長期的かつ慢性的なアウトカム、そして人々を、より高い疾病負担を伴う。
- また、社会的な経済効果も示唆されています。自然療法によるケアは、プレゼンティズムの改善などと欠勤が減り、保険料全体が人あたりのコスト安くなる。
- 多職種による補完療法の統合 また 同等またはより良いものを提供しながら、医療費を削減する 一般的な入院患者における臨床転帰 このような知見は、がん患者や疼痛患者を対象とした自然療法士/自然療法医が統合医療において有益な役割を果たす可能性があることを多職種が集まる環境で示唆するものである。

国際調査、自然療法患者および実践

第9章では、オリジナル研究である「国際的な自然療法診療の概要」と題された論文。と患者の特徴：横断的研究の結果 自然療法士/NDが治療するのは、14カ国である。70%以上の患者が様々な症状を訴えています。慢性疾患を持つ また、自然療法士/NDは 急性期の患者を治療し、予防に重点を置いています。と緩和ケアに取り組んでいます。自然療法士の典型的な診察は以下の通りです。一般的には、処方、推奨、または 平均4種類の自然療法を使用します。

治療法、療法、または実践。自然療法士/NDの治療 プライマリーケアとして、様々な健康状態に対応します。また、他の医療機関と連携してプロバイダーです。

国際的な普及率 相談件数 自然療法士/ナチュロパス・

自然療法医

第10章では、自然療法士が、そのようなは世界的に大きな存在感を示していますが、その実態は以下の通りです。自然療法相談の普及率に関するデータは限られています。

自然療法士による診察の12ヶ月間の有病率は 自然療法士/自然療法医の割合は、1%から2%で、その差は1%です。アメリカの一般人口から、ヨーロッパと日本の6%まで。

西太平洋地域は、有意な差はあるものの 地域間および地域内の違いは、以下のとおりです。政策、法律、社会的な様々な要因によって推進されています。

アクセスと公平性 自然療法ケア

第11章では、元の研究論文である 自然療法コミュニティクリニック：国際断面図 の調査によると、100以上の自然療法士が存在することが示されています。

世界各地のコミュニティ・クリニック（NCC）では、無料もしくは 低料金で自然療法によるケアを受けることができます。

NCCは、30年以上前から教育機関として様々な自然療法士を通じて提供されています。

- NCCは、低所得家庭、移民、難民、ホームレス経験者、先住民、HIV/AIDS患者、依存症や薬物使用に悩む人々など、十分なサービスを受けられず、脆弱で社会から疎外された人々にサービスを提供しています。

また、トランスジェンダーやノンバイナリーを含む多様なジェンダーの方々も対象です。

- NCCは、一般的な自然療法診療と同様に、慢性および急性の症状を治療する自然療法ケアを提供します。NCCを訪れる人々の胃腸、精神、内分泌、筋骨格系などの症状が最も一般的な症状です。

地域社会の教育・健康増進活動 自然療法士/ナチュロパス・自然療法医

第12章では、オリジナル論文「自然療法士/自然療法医の地域社会教育と健康増進活動：国際横断調査の結果」の結果を紹介し、自然療法士/NDが、健康リテラシーの向上とセルフケアの促進のために、さまざまな教育ツールを、しばしば患者や消費者に無償で使用していることを強調している。使用されるツールは、健康行動を変える方法、セルフケアのガイドラインを提供する方法、健康不安を管理する方法、将来の健康問題を予防する方法に焦点を合わせています。一般的に使用されるツールには、情報シートや配布資料、ソーシャルネットワークや専門家ネットワークとのコミュニケーション、コミュニティのメンバーに対する情報提供のための講演などがあります。調査によると、自然療法士/NDのもとを訪れた人は、より積極的な健康行動に取り組む意欲を持つ可能性があることが示されています。このように、患者中心の教育と患者集団のモチベーションの組み合わせは、自然療法士が行う地域教育活動が、その患者集団に著しい影響を与えることを意味するかもしれません。

自然療法の臨床実践における知識と情報の活用

第13章では、「Naturopaths' mobilisation of knowledge and information in clinical practice: an international crosssectional survey」と題したオリジナル研究論文を取り上げ、自然療法士・NDが臨床上の意思決定に役立てるために、多様な情報源から発表された効果的に知識を引き出すことができることを示しています。

自然療法士・NDは、臨床実践に役立つ情報源として研究エビデンスが最も重要ですが、伝統的な知識、臨床経験、自身の健康状態に関する患者の専門知識も活用しています。

自然療法士は患者やコミュニティと積極的に知識を共有しており、知識の仲介者としての役割を担っていることが示唆される。

自然療法研究

本HTAの第4章では、自然療法の実践と療法を検証する広範な研究が存在することを概説している。しかし、研究が自然療法の実践を適切に反映するためには、いくつかの点を考慮する必要がある。自然療法士コミュニティは、自然療法やT&CM以外の健康トピックの研究にも積極的である。

主な内容

- プラグマティック臨床研究法は、臨床試験デザインに複雑な人物中心のアプローチを適用するもので、以下のような効果が期待されます。自然療法の実践に忠実であるかどうかを判断する。
- 国際的な自然療法研究コミュニティは、自然療法を体系化し、統合することに持続的なコミットメントを示してきた。研究コミュニティは既存の知識、新しい知識を生み出し、その知識をより広く臨床や社会に普及させる。
- 自然療法士/NDは1987年以来、2000本以上の査読付き論文を発表しており、この20年間で顕著に増加した。年です。
- 自然療法専門職は、研究および研究能力をさらに支援するための適切なインフラを必要としています。の構築、消費者と開業医の関与、医療システムへの統合が必要です。
- 自然療法を伝統医学の総合的なシステムとして認識することが重要である。自然療法の治療法、療法、実践を調査する研究。

自然療法を研究する 伝統的な医学の体系

第14章では、研究にはバランスが必要であることを概説しています。内的妥当性と外的妥当性の間にある内的妥当性と外的妥当性を実現するのようなT&CMの専門職では、これは難しいかもしれません。

自然療法は、その全実践的な性質から研究外的妥当性にあまり重点を置いていない場合、そのようなことはありません。自然療法士/NDの適用範囲は限定的であるとして、自然療法士/NDによって臨床に生かす。自然療法専門職には新しい知識を生み出すという長い伝統があり、自然療法士/NDは、様々な製品をいち早く取り入れたと言われています。

また、エビデンスに基づく研究の改善も行っています。との強い結びつきを保ちつつ、実践に向けたアプローチ自然療法の理念と原則に忠実であること。

挑戦と前進 自然療法臨床のための 研究内容

第15章では、自然療法・自然健康法の研究が、日本ではまだ発展途上であることを概説しています。自然療法は、プライマリーケア、公共医療と同様に、医療従事者のための医療です。を、そのほかのT&CMの実践のために使用することができます。の限界のため、いくつかの課題がありました。ランダム化比較試験デザイン 哲学と哲学に裏打ちされた複雑な介入 生物医学のパラダイムを超えた原理。

- 自然療法の研究者たちは広く研究デザインおよび個人を中心とした調査を目的とした方法論 複数の治療要素を持つ介入
- 実用的な臨床研究デザインは、以下のことを可能にします。マルチモーダルな介入、現実世界での設定し、柔軟に治療を提供することができます。現実の自然療法ケアのアプローチと一致します。

グローバル自然療法研究コミュニティによる研究発信

第16章では、原著論文のタイトルを紹介します。「自然療法の専門家による知識の普及：自然療法の専門家による知識の普及：自然療法の専門家による知識の普及 自然療法士が執筆した査読付き論文の計量書誌学的分析」。出版物によると、国際的な自然療法士の研究コミュニティは、積極的に論文を発表しています。30年以上にわたって査読付き研究文献を発表しており、またを体系化することに持続的に取り組んでいることを実証しています。既存の知識、新しい知識の創造、そしてこの知識を自然療法士およびより広いアライドヘルスの臨床と研究のコミュニティ。

自然療法研究は、ほとんどの教育機関で行われています。自然療法プログラムを持つ教育機関。特にアメリカ、カナダに多い。オーストラリア、ドイツ、インド、ニュージーランド。

自然療法の臨床実践の有効性

本HTAの第5章では、自然療法士／自然療法医が多様な身体的・心理的健康を治療することを概説しています。患者の人生全体を通しての悩み。自然療法士の診察の多くは慢性疾患に重点を置いているが、自然療法医 また、急性期疾患の治療や、緩和ケア、予防医学のアドバイスを求めている患者さんのサポートなども行っています。

自然療法の研究者は235のオリジナル臨床研究論文を発表しており、幅広い種類の健康を調査しています。介入を行い、多様な健康集団をサンプリングしています。全体として、自然療法の有効性に関する研究の81.1%は、自然療法を行うことで得られるものでした。臨床実践では、少なくとも1つの主要または副次的な結果指標に肯定的な反応が確認されました。

主な内容

- 自然療法の研究者は、81の異なる疾患集団を対象とした独自の臨床研究を行っています。
- 自然療法の臨床実践、療法、治療法の有効性を調査した研究の81.1%は、以下のことを確認しました。少なくとも1つの主要または副次的な結果指標に肯定的な反応があったこと。
- 非伝染性疾患（NCD）のリスクは、修正可能なリスク要因である生活習慣と強く関連しています。運動量、座りっぱなし、肥満、飲酒、食事の選択、環境への暴露など、すべてです。自然療法の一環として取り組んでいます。
- 自然療法士/NDは、統合的腫瘍学、栄養精神医学の発展にも寄与してきた。また、健康に及ぼすマイクロバイオームの役割など、現代生物医学的な概念も紹介されています。
- このセクションには235の臨床研究論文が含まれているが、自然療法士／自然科学者が用いる複雑な介入の多様性のために、このセクションの内容は必ずしも適切ではない。自然療法の有効性については、さらなる研究が必要である。

がん・がん関連疾患

第17章では、個人が自然療法を受けることについて概説しています。様々な癌の治療や回復のためのケア。がんや緩和ケア 自然療法の研究者は

介入策を調査する53の臨床研究を実施 がんやがんに関連する症状を持つ人々のために 93.5%が肯定的な結果を報告しています。

は、100以上の観察研究および 60以上のレビューやメタアナリシスがあります。対象疾患 乳房、大腸、前立腺、子宮頸部などが含まれます。

循環器疾患

第18章では、自然療法士／NDは、以下のような役割を果たすことができると概説している。心血管系の予防と管理に重要な役割を果たす やその他の NCDs に対処することができます。自然療法の研究者 は、介入策を調査する12の臨床研究を実施しました。を、心血管系疾患を持つ人々のために作成しました。72.7%が肯定的な結果を報告しています。これらの結果は20以上の観察研究および 20以上のレビューやメタアナリシスがあります。心血管系疾患 高血圧症、心血管 心疾患、心臓手術後、その他の心血管疾患などの条件を満たしている。

複合免疫疾患

第19章では、自然療法のアプローチでは、以下のように考えていることを概説しています。複雑性というレンズを通して、病態を管理する。複数の原因因子と生理学的な対処 のシステムを同時に構築します。自然療法の研究者 は、介入策を調査するために14の臨床研究を実施しました。を持つ人々のためのものである。

複合免疫疾患には以下のようなものがある。

HIV/AIDS、多発性硬化症、慢性疲労症候群などがあります。

内分泌疾患

第20章では、自然療法士/NDは、以下のような立場にあることを概説しています。内分泌系の治療と予防に貢献することができます。の症状やその他のNCDは、その特殊性から トレーニングを受けており、ライフスタイルのカウンセリングと治療に重点を置いています。様々な危険因子の自然療法の研究者 は、介入策を調査する23の臨床研究を実施しました。心血管系疾患を持つ人々を対象としています。90.9%が肯定的な結果を報告しています。これらの結果は 15件の観察研究、17件のレビューまたは論文によって裏付けられています。メタアナリシス 内分泌疾患は以下の通りです。型糖尿病、メタボリックシンドローム、その他 内分泌疾患。

消化器系疾患

第21章では、消化器系疾患がその概要について述べています。は、患者が自然療法による治療を受ける理由の上位に挙げられている。

自然療法士/NDは消化器系を非常に重要視しています。の健康が、様々なことに関連していることを認識しています。その他の症状 自然療法の研究者が実施した

17の臨床研究（介入研究 消化器系の疾患を持つ人々の82.4%が肯定的な結果を報告しています。これらの結果は、13の観察研究、39件のレビューやメタ分析があります。胃腸の症状としては、過敏性腸症候群、機能性胃腸障害。炎症性腸疾患、セリアック病、肝・胆・膵疾患など膵臓疾患、条件を満たしているその他の消化器疾患。

メンタルヘルスの疾患

第22章では、ナチュロパシーが持つ幅広いスペクトルの健康と病気に対するアプローチと、「トリート・ザ・イヤーズ」の原則。自然療法士/NDは、以下のことを認識しています。精神的な状態が重要であることを説明しました。自然療法の研究者は、以下のような人々への介入を調査する24の臨床研究を実施しました。64.7%が精神疾患を抱えています。が肯定的な結果を報告しています。これらの結果は50以上の観察研究、80以上のレビュー

やメタアナリシスを用いています。対象となる精神疾患うつ病、不安神経症、その他の精神疾患などの条件を満たしている。

筋骨格系の疾患

第23章では、自然療法士/NDが幅広い分野で活躍することを概説しています。筋骨格系疾患に対する治療アプローチを求める最も一般的な理由の1つである。

自然療法士によるケア 自然療法の研究者が行った30の臨床研究 筋骨格系の疾患を持つ人々の89.3%が、このような状態にあり、肯定的な結果を報告しています。これらは以下のように裏付けられている。50以上の観察研究、50以上のレビュー またはメタアナリシス。対象となる筋骨格系疾患、慢性頸部痛、腰痛、変形性関節症など。線維筋痛症などの筋骨格系疾患。

神経系疾患

第24章では、自然療法士/NDが神経症状の治療において多様な治療アプローチを採用していることを概説している。自然療法研究者は、神経症状を持つ人々への介入を調査する21の臨床研究論文を実施し、66.7%が肯定的な結果を報告した。これらは40以上の観察研究と25以上のレビューやメタ分析によって裏付けられています。神経学的状態には、片頭痛や慢性頭痛、パーキンソン病、その他の神経学的状態などが含まれます。

皮膚疾患

第25章では、自然療法士/NDが皮膚の状態を非常に重要視していることを概説している。自然療法

の理論では、皮膚は最大の解毒器官とみなされているため、皮膚の状態は非常に重要である。自然療法研究者は、皮膚疾患を持つ人々への介入を調査する8つの臨床研究を実施し、62.5%が肯定的な結果を報告した。代表的な皮膚疾患は、尋常性ざ瘡、乾癬、尋常性白斑、その他の皮膚疾患です。

女性の健康状態

第26章では、自然療法士・NDが女性の健康状態に大きな関心を寄せており、自然療法を求める患者の70%以上が女性であることを概説している。

自然療法の研究者は、女性の健康状態への介入を調査する11の臨床研究を実施した。これらは40以上の観察研究と30以上のレビューやメタアナリシスによって裏付けられています。

女性の健康状態には、更年期障害、月経障害、その他の女性の健康状態などが含まれます。

その他の症状

第27章では、上記の症状以外にも、自然療法士/NDが治療する様々な症状があることを概説しています。自然療法の研究者は、これらの他の症状への介入を調査する14の臨床研究を実施し、85.7%が肯定的な結果を報告している。代表的な疾患は以下の通りである。

肥満、呼吸器疾患、泌尿器疾患など。

その他の研究発表

健康状態に関連するもの

第28章では、自然療法研究者も健康状態に関連した1400以上の査読付き学術論文を発表しており、その約半数がレビューやメタ分析（n=357、24.5%）、観察研究（n=363、24.9%）であることを概説している。これらの論文は、健康、病気、およびその管理に関する理解において、ヘルスクエア分野で重要な貢献をしています。

自然療法の治療法と実践に関する研究

本HTAの第6章では、自然療法は、様々な治療、療法、実践を伴う複雑さと柔軟性で知られていることを概説している。実践で使用される7つの中核的な自然療法について強いコンセンサスがある：応用栄養と食事修正、臨床栄養と自然健康製品の使用、ハーブ薬、健康食品、健康食品。ライフスタイル・カウンセリング、水治療法、ホメオパシー療法、そしてヨガ、自然療法などの様々な身体的モダリティを使用し、筋肉を解放します。自然療法の様式と実践に関する自然療法研究 自然療法士/NDは、このような治療法を単体または組み合わせて、自然療法においてどのように採用しているのかを明らかにします。臨床的な介入を行い、時には他の医療環境と連携して行うこともあります。300以上のオリジナル 自然療法の治療方法と実践に関連した臨床結果に焦点を当てた臨床研究。これらは、140以上の疾患に対する治療法を調査しています。これらの臨床研究は、一般的に以下のような実用的な要素を特徴としています。マルチモーダルな介入、投与の柔軟性、現実世界での設定など。全体として、これらの研究の77.6%はそれぞれ少なくとも1つの主要または副次的な結果指標に肯定的な反応を確認しました。

主な内容

- 一般的な自然療法の診察では、実践で使用される主要な自然療法について強いコンセンサスが得られています。平均4種類の自然療法治療薬の処方、推奨、使用が含まれ、提供します。
- 自然療法は、ヘルスケアに対する多様で柔軟な治療アプローチで知られています。これには 内服・外用剤、食事・生活習慣・心身医学に関するカウンセリング、自然療法的な 理学療法など。
- ケアに複合的な介入アプローチを用いることで、自然療法士/NDは以下の相乗的な特性を活用することができます。様々な治療法を駆使し、患者さん一人ひとりの心理的、機能的、構造的な側面を治療していきます。
- 自然療法界は、複数のT&CM治療を統合することの影響を検証するリーダー的存在です。従来の医療現場でのアプローチ
- 自然療法のマルチモーダル、複合的な介入アプローチは、さらなる調査が必要である。

複合的な介入

第29章では、ホリスティックで患者を中心とした診療を行うことを概説しています。マルチモーダルな治療アプローチは、自然療法の中心的なものです。ケアです。自然療法の研究者は、これまで 複合的な介入を研究する25の臨床研究がある。

これらは、70以上の観察研究と 19件のレビューやメタアナリシスを実施。

応用栄養学

第30章では、応用栄養学が不可欠であることを概説しています。自然療法における基礎的な役割を担っています。食事療法（治療食、断食、個別指導）が含まれます。食事療法）、治療への応用 特定食品、行動・生活習慣のカウンセリング 食行動に関するものです。自然療法の研究者を調査する31の臨床研究を実施しました。栄養学的介入を行い、88%が肯定的な結果を報告しています。結果 これらの結果は、20以上の観察 また、30以上のレビューやメタアナリシスも行っています。

臨床栄養学

第31章では、臨床栄養学がその1つであることを概説しています。自然療法士/NDが最も使用する治療法です。

臨床栄養学には、ビタミンとミネラル、栄養成分 アミノ酸などの生理作用を有するもの。などのアミノ系化合物、食品系成分。といった、基礎的な部分で重要な化合物 ヒトの生化学および生理学 自然療法士 研究者が実施した臨床研究論文は59件 臨床栄養学的介入を調査し、その62.5%が 肯定的な結果を報告しています。これらの結果は、以下のものによって裏付けられています。50以上の観察研究、90以上のレビュー またはメタアナリシス。

ハーバル薬

第32章では、自然療法士の半数以上が、「自然療法を学ぶ」ことを目的としていることを概説しています。は、何らかの形で薬草の処方を受けることとなります。

自然療法士/NDは、様々な種類の薬草を使用するよう訓練されている。穏やかなハーブから非常に強力なハーブまで、様々なハーブがあります。現代薬理的な医学の基礎となるものである。自然療法の研究者たちは、48の研究論文を発表しています。植物薬を調査した臨床研究論文 その結果、71.7%が肯定的な結果を得たと報告しています。これらは、70以上の観察研究および 19件のレビューやメタアナリシスがあります。

生活習慣の改善

第33章では、自然療法士/NDが、以下のような活動を行ったことを紹介しています。医療専門家として初めて正式に認められた生活習慣の改善は、ケアの重要な要素である。

自然療法におけるライフスタイル・カウンセリングの重要性 このような診療は現在も続いており、治療の中核をなすものの1つと考えられています。自然療法診療の要素です。自然療法士研究者は、以下の3つの臨床研究を実施しました。生活習慣の改善への介入は、100 は肯定的な結果を報告しています。

心身医学

カウンセリング

第34章では、心身医学（MBM）の概要を説明します。カウンセリングは、自然療法士/自然科学者が処方し、実践しています。NDは、機能的な疾患を持つあらゆる年齢層の患者を対象としています。

障害（例：胃腸、内分泌、神経、心臓など）がある。または循環器系疾患）、構造的障害（例：構造的障害（筋骨格系疾患、慢性疼痛など）、心理学的障害

不安、うつ病、ADHD）、またその一環として予防・緩和ケア 自然療法研究者 を調査する9つの臨床研究を実施しました。

医学的カウンセリングによる介入は、88.9 %が肯定的な結果を報告しています。

自然療法フィジカル医学

第35章では、構造的な問題への対処や修正について概説しています。の重要なステージと考えられています。自然療法士/NDは、自然療法治療命令としてには相関関係があることを認識しています。アライメントと構造、内臓の機能 臓器や人の心理状態を知ることができます。自然療法士研究者は、9つの臨床研究を実施し物理的な医学的介入を行い、66.7%が 肯定的な結果を報告しています。これらの結果は、20の観察研究、レビュー・メタ分析7件。

水治療法

第36章では、水治療法（Hydrotherapy）の概要について説明しています。治療目的のための水の利用は、古くから行われてきました。何千年も前から、自然療法の一部となっています。ケアはその始まりから自然療法の研究者は 水治療法に関する17の臨床試験が実施されました。84.2%が肯定的な結果を報告しています。

鍼治療

第37章では、鍼灸治療が鍼灸院に含まれることを概説しています。自然療法士教育プログラムのカリキュラムと一部の国では、自然療法法の範囲内でカナダ、アメリカ、南アフリカ、インドなど。ドイツ、スイス、ブラジル 自然療法の実践 針治療、電気鍼治療、耳介治療、鍼治療（鍼、指圧、カップリング、お灸）などが含まれる場合があります。

自然療法法の研究者は、鍼治療の介入を調査する32の臨床研究を実施し、84.8%が肯定的な結果を報告している。これらは、10の観察研究と15のレビューやメタ分析によって裏付けられています。

ヨガ

第38章では、特にインドにおいて、ヨガが自然療法において重要な役割を担っていることを概説している。インドでは、ヨガと自然療法は自然療法教育において統合されプログラムおよび実践を行います。自然療法士/NDは、アーサナ、プラナヤマ、瞑想などの様々なヨガの実践を、患者の実証的な改善を達成するため健康や幸福に貢献に使用します。

自然療法法の研究者は、ヨガの介入を調査する58の臨床研究を行い、86.3%が肯定的な結果を報告しています。これらは、20以上の観察研究と50以上のレビューやメタアナリシスによって裏付けられています。

医薬品ベースの最適化

介入策

第39章では、自然療法士が薬物・ハーブ・栄養素の相互作用や、医薬品と自然療法に基づく介入の比較について十分な知識を持つことが重要であることを概説している。北米を中心とする一部の地域では、NDは、その診療範囲に含まれる処方権を持っている。

自然療法研究者は、医薬品に基づく介入を最適化する方法を研究する8つの臨床研究を実施した。

その他の研究発表

自然療法に関する治療と実践

第40章では、自然療法研究者が広範な臨床研究を行っていることを概説しているが、査読付き出版物1203件のうち、自然療法研究者は4分の1しか占めていない。

自然療法でよく使われる幅広い治療法を検証した雑誌の記事。自然療法研究者が発表した論文には、調査、インタビュー、フォーカスグループの手法を用いた研究（n=195; 16.2%）やレビューやメタアナリシス（n=297; 24.6%）などの観察研究がかなりの割合で含まれています。

ディスカッション

第7章は「考察」（第41章）であり、広範な協議によって特定された重要な問題を強調している。自然療法士の制度や組織レベルでの政策や実践の意思決定に重要であるとして、利害関係者とともに実践しています。また、自然療法と自然医学の有効性・効能についてまとめており HTAで示された知見の政策的妥当性と実施について。

世界自然療法連盟について

2014年、世界の自然療法界が開発したWNFは、カナダで法人化されました。2021年時点では WNFは78の自然療法団体を代表しており、正会員として35の国の自然療法団体、10の準会員 会員、教育会員25社、専門自然療法団体8社。2015年から2021年にかけてWNFは、現在入手可能な情報や研究を体系化し、統合するために積極的に取り組んできました。自然療法士という職業 この間、WNFは19の出版物と7つのポリシー・ステートメントを作成しました。

WNFのミッション

- ナチュロパシーの成長と多様性を支援する / 自然療法医学の普及に努めます。
- 適切な規制と認知を支援する 自然療法・自然医学の普及に努める。
- 認定と最高水準の教育を推進する。WHOの各地域における基準
- 自然療法研究を奨励する。
- 自然療法士のデータベースを構築し、維持する。組織、規制、認定。会議、研究活動
- 世界的な機関（世界保健機関）と連携する。国連、ユネスコ）および 各国政府および超国家的機関 自然療法の専門職を推進すること。

WNF 現在の会員国

アフリカ地域

- コンゴ民主共和国
- ガーナ
- ナイジェリア
- 南アフリカ
- ザンビア

アメリカ大陸

- ブラジル
- カナダ
- チリ
- エクアドル
- エルサルバドル
- グアテマラ
- メキシコ
- ペルー
- プエルトリコ
- ウルグアイ
- アメリカ合衆国

東地中海地域

- キプロス
- サウジアラビア

欧州地域

- ベルギー
- チェコ共和国
- フランス
- ギリシャ
- アイルランド

- イタリア
- ノルウェー
- ポルトガル
- ロシア
- スロベニア
- スペイン
- スイス
- イギリス

南・東アジア地域

- インド
- ネパール

西太平洋地域

- オーストラリア
- 香港
- 日本
- ニュージーランド
- シンガポール